

阿蘇郡市中体連夏季大会

●6/26（土）、27（日）に、多くの部活動にとって目標となる大会「阿蘇郡市中体連夏季大会」が開催されました。

●大会の前に学校で行った選手推戴（すいたい）式で、大きく二つのことについて話しました。

●一つ目は、この中体連がコロナ禍の中でも実際に開かれること自体がいかに「ありがたい」ことであるのかをしっかりと感じ取ってほしいということ。二つ目は、これまで自分たちを支えてくださった保護者の方、先生やコーチの方々、そして、試合には出られなくても応援してくれる人、それぞれの思いに支えられて大会に臨むことができることを心に刻んでほしい、ということです。

●二日間、それぞれの会場で生徒たちはこれまで積み上げてきた努力の成果を精一杯表現していました。勝利を収めて喜ぶ姿がありました。その一方で試合展開が思うようにいかなかったとき、あるいは負けてしまった試合のときでも、最後まであきらめずに自分のベストを尽くそうとする姿も目にすることができました。

●勝敗が分かれるスポーツ競技であり、全員が結果に満足できるものではありませんが、勝っても負けても、必ず得るものがあります。

●特に負けたときが、人として成長するうえで大きな機会・転機となります。

●この大会を通して、自分は何を得たのか、そして何をこれからの生活に生かしていくのか、一人一人がぜひ、自分で振り返って考えてみてほしいと思います。

●大会直前になって県のリスクレベルが引き下げられました。応援・観戦の制限が緩和され安堵したところ。保護者の皆様にはご心配をおかけしました。

●7/3（土）には郡市中体連空手競技が開催されます。出場生徒の活躍を期待しています。



【リモートでの選手推戴式】



【校内表彰式】

タブレット持ち帰りが始まります

●今週末から「タブレットパソコンの持ち帰り」を始めます。

●学校から貸し出すタブレットへあらかじめダウンロードしておいた学習課題に、各家庭で取り組むようにします。ですから、インターネットにつながらない「オフライン」の状態で家庭学習に取り組むことができます。

●これまでは「文房具」といえば筆記用具やノートなどを思い浮かべていましたが、これからは「タブレットも、当たり前に使う文房具のうちの一つ」としてとらえる必要があります。

●今回のタブレットの持ち帰りも、そうした時代の流れに沿ったものであるといえます。

●生徒・保護者の方に向けたプリントも併せて配付いたしましたので、内容をご一読のうえ、お子様の使用状況について確認いただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。



明るい社会を築くために

●7/1（木）に西原村保護司会の代表の方が本校を訪問され、全校生徒に「社会を明るくする運動」の啓発に向けた消しゴムを贈られました。

●従来は全生徒が揃った場で贈呈式があったそうですが、コロナの影響で生徒会長の〇〇〇〇さん、副会長の〇〇〇〇さんが代表して受け取りました。

●7月の「社会を明るくする運動強調月間」に伴い、中学生にも犯罪のない明るい社会について考えてほしいとの趣旨で、西原村保護司会が毎年実施されている取組だそうです。

●今回のことが、犯罪・非行の防止や罪を犯した人たちの更生について、そしてそうしたことに関わっておられる保護司の方々の活動について、理解を深めるきっかけとなれば、と考えます。

